

〔書言字考節用集二時〕去々年 萬葉には前年とかけり、あと、しなり、去年のあとの年也をとあと通す、一昨日をおとつひと云が如し、此外にも説多し、不可用。

〔萬葉集四時〕去々年 神家持贈娘子歌
前年之先年從至今年戀跡奈何毛妹爾相難

〔拾遺和歌集十六春〕題亥らず

いにし年ねこじてうへし我宿のわか木の梅は花さきにけり

〔源氏物語十二〕二月廿日あまり、いにし年京をわかれし時、心ぐるしかりし人々の御ありさまなどいとこひしく○下

〔伊呂波字類抄〕眞字來年

〔和爾雅二時〕明年翌歲來茲

〔書言字考節用集二時〕翌年爾雅、翌來年歲明並同、明年又云

〔日本書紀九神功〕伐新羅之明年春二月、皇后領群卿及百寮移于穴門豐浦宮

〔古今和歌集秋〕やうか月○七のひよめる

けふよりはいまこん年の昨日をぞいつしかとのみ待わたるべき

みぶのたゞみね

〔和爾雅二時〕周歲期年 一稔穀熟曰稔、古人謂一年一熟也、一熟也、周歲期年、終期一歲
竟歲 周星 星辰周年 春秋一年 星霜同發歛說文春秋曰歛、旬歲滿歲 一齡也一年期月期出年

〔書言字考節用集二時〕期年期本字莽、文選註、一歲也、周伯溫曰、日于論四運四時也、文選詩、語四運四時也、文選詩、

〔類聚三代格十五〕太政官符 時候期年期本字莽、文選註、復其初度、謂之期年、行三百六十日、則

周年同韻會、唐明皇諱隆基故改莽爲周年、